

保安機能及び表示

項目		動作条件	事象表示	LED表示
流量遮断	合計最大流量オーバー遮断	メーター号数に比して、あり得ない大きな流量のガス流量が生じた場合	Q	パターン3
	個別最大流量オーバー遮断	メーター号数に比して、不自然に大きな流量の増加が生じた場合	K	パターン3
	安全継続時間オーバー遮断	ガス流量に変動がないまま、制限時間を超えてガスが流れている場合	J	パターン2
	逆流検出遮断	所定の逆方向の流量を検出した場合	R	パターン1
	遮断中パルス有遮断	遮断中に一回転パルスが検出された場合	前遮断事象表示 但し20回遮断出力後は■との交互表示	左記
	復帰漏えい確認遮断	遮断された遮断弁を復帰した際、復帰漏えい確認判定で漏れ有りと判断された場合	前遮断事象表示	左記
外部センサ遮断	警報器遮断	警報器から信号が入力された場合	A	パターン1
	感震遮断	感震器から信号が入力された場合。	G	パターン1
	圧力低下遮断	圧力値が所定値以下に低下した場合	P	パターン1
	圧力上昇遮断	圧力値が所定値以上に上昇した場合	O	パターン1
その他の遮断	テスト遮断	テストスイッチがオンした場合	T (40秒以内)	パターン3
	通常電池電圧低下遮断	電池電圧が所定の値以下になった場合	V	消灯
	センタ遮断	センタ通信により電文を受信した場合	C	パターン1
警報・表示	内管漏えい警報	流量有りの状態が設定日数間継続した場合	N	パターン4
	復帰漏えい確認表示	復帰確認が終了後、復帰漏えい判定開始から復帰するまで表示	L(点滅)	パターン4
	通常電池電圧低下警報	電池電圧が所定の値以下になった場合	V	パターン4
	センサ異常警報	MRセンサ出力の異常を検出した場合	X(点滅)	パターン4
	Aライン短絡表示	Aラインが短絡した場合	E	消灯
その他の機能	安全継続時間バイパス	バイパス設定をすることにより安全継続時間オーバー遮断を行わない	—	—
	安全継続時間区分バイパス	任意の区分をバイパスすることにより、その区分の安全継続時間オーバー遮断を行わない	—	—
	内管漏えいバイパス	バイパス設定をすることにより、内管漏えい検出を行わない	—	—
	口火流量登録	口火登録をした場合、内管漏えい流量と区別する	—	—
	遠隔遮断弁閉	センタ通信により所定の電文を受信した場合	D	消灯
	遠隔遮断弁開	センタ通信により所定の電文を受信した場合	—	—
	テーブル遮断予告	安全継続時間の各区分に設定した遮断予告時間が経過した場合端末発呼を行う	—	—
	ロードサーベイ	設定した時間間隔毎に使用量を取得する。	—	—
	スナッフ測定	設定した時間間隔毎に圧力値を取得する。	—	—
	デマンド機能	月間使用量、時間当たりの最大使用量、現在時刻、現在圧力値を取得、表示する	M/m/H/ h/T/P	—